タ。

共同戰線ヲ確立セル盛況テアリ益〃左翼方針ヲ採レル傾向テアツ二年三月十九日從業員大會議）コノ主張ハ實現セナカツタカ今日大阪電氣トモ共同戰線ヲ張ツテソノ勢力ヲ利用セントシタ（昭和ノ無力ト充實ノ必要ヲ痛感シ、單ニ自己組合ノミナラス愛友會、勢ヲ保ツタノテ平穩ニ解決シタカ、此ノ事ニヨツテ組合ハ組合力ツタ、當時大問題トナツテ罷業モ懸念セラレタカ組合員ハ案外冷月左翼支持者タル中央委員三木光治、菅忠正ヲ解雇シタコトニ在在ニ至ルモ些ノ變化ナク行ナハレテ居ルカソノ手始ハ昭和三年三トニ左翼支持者ヲ削除スルノ方針ニ出タ、コノ方針ハ終始一貫市當局ハ内面的ニ左翼勢力ノ擡頭スル狀態ヲ看取シテ議會アルコ十一月四日中央委員會決定）スルト定ムルカ如キ狀態テアツタ。漕部ヲ設ケ漕部委員ヲ設置シテ之ニヨリテ對策ヲ決定（大正十五年局ノ思想ヲカネテ政治運動ニ突入スルコトヲ講究シ、僅ニ會ニ頃

而シテ對内的ニハ共濟組合、健康保險兩評議委員等ト連絡ヲトリテ勞働條件ノ改善ヲ迫リ又（常ニ殆ンド拒絕サル）對外的ニハ評議會系組合ノ活躍ニヨリテ組織セル大阪勞働組合會議ニ參加シ或ハ政黨問題ニモ裏面的ニ參劃シ、爭議ニ對シテハ南海爭議（昭和二年七月）ニハゼネスト等ヲ叫ンテ之ヲ應援シ、或ハ新京阪從業員ノ組織ニ努メ其等ノ活躍ヲナシタカ主トシテ對外的活動ニ主力ヲツクシ、常ニ組合員ヲ左翼ニ誘導セントシ試ミ大衆的左翼運動ノ最頂點ニ達シタ。昭和三年八月今井田新電氣局長就任シタカ此ノ直後會内ニ「共產團体ト行動ヲ共ニスル者概シテ内部ヲ改革セシメントスル自助會改革同志會出現シ又一方ニハ後ノ西部交通幹部ニシテ當時交總書記タリシ遠藤喜一ハ會内ニ無政府主義ヲ唱ヘナカラ「自助會解散協議會ナル組織セントシ散撒シ、菅、三木等ハ前職同盟ヲ組織シテ之ニ對抗セントスル等、會内ノ統制漸ク紊レ、而モ爲ニ會費不納者急增スル狀勢トナツタ。明カニシテ今後組合ハ職制的統制

財團法人協調會大阪支所